


テーマ	子どもの居場所の提供
区市町村	調布市
児童館名	緑ヶ丘児童館
活動名	「児童館中高生タイム」
目的	<p>市の西側エリアには、中・高校生世代を対象とした児童館として「青少年ステーションCAPS」があり、多数の利用者で賑わっている。しかし、東側エリアからは遠距離となり利用者は少ない。このため、東側エリアの居場所スペースとして、東側エリアの児童館3施設（つつじヶ丘・東部・緑ヶ丘）が連携し、施設を開放することで、市全体において、中・高校生世代の居場所を提供する。</p>
主な対象	中学生から高校生世代
活動の経緯 実践内容	<p>【経緯】</p> <p>中高生世代の児童館利用については、小学生の利用が多いことに加え、部活動などで、定着した利用が少なかった。そこで市内全11児童館で、中高生タイムとして、平日17時から18時までプレイルーム等を中高生世代専用スペースとして開放してきた。</p> <p>西側のCAPSに代わる東側エリアの居場所として、平成28年度から、つつじヶ丘児童館ホールを試験的に開放、平成29年度には、毎週水曜日の20時までを開放し、居場所を提供した。</p> <p>さらに今年度は、つつじヶ丘児童館ホールに加え、東部、緑ヶ丘児童館を毎週水曜日の17時から19時まで、中高生専用として、新たに開放し、居場所の拡大に努めている。</p> <p>【内容】</p> <p>緑ヶ丘児童館は、広いプレイルームを有していることから、「スポーツ」を中心とした開放。バスケットボール、卓球、フットサルなどでの利用のほか、音楽を流すなど、開放感がある雰囲気作りをしている。</p> <p>ほかにも、たまり場のスペースや漫画コーナーを設け、「くつろぎの場」を提供し、現代の中高生のニーズに合った方法で開放することで、利用者以外に保護者からも好評を得ている。</p> <p>このような取組を広く周知するため、地域の中学校や高等学校に、3ヶ月に1回程度チラシを配布し、利用者拡大を図っている。</p>
活動の経緯 実践内容	

<p>効果や課題</p>	<p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用人数が、前年度の1日平均3,6人と比較して、今年度は平均8,4人と増加し、定着したと思われる。 ・利用者からは「居心地が良い」「楽しい」など、開放内容について好評。 ・保護者からは「街中でたまるよりも、安心できる」「新たな居場所ができて有難い」など、安全性を含めて好評。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ配布以外にも、SNSを活用した情報発信が必要。 ・スマートフォンやオンラインゲーム等の普及からWi-Fi環境の整備要望が寄せられている。 ・小学生がいる時間帯での居場所の確保。(プレイルーム等、同じスペースを共有する場合、体格差等で危険な場面が生じるため、現状、中高生は17時以降の利用としている。)
<p>活動写真</p>	

児童館のプロフィール

<p>児童館名</p>	<p>緑ヶ丘児童館</p>
<p>運営主体</p>	<p>公設公営</p>
<p>所在地・電話番号</p>	<p>(所在地) 東京都調布市緑ヶ丘2-20-16 (電話番号) 03-3309-0521</p>
<p>開館日・時間・休館日</p>	<p>(開館日) 月曜日～土曜日9:00～18:00 ※毎週水曜日のみ中高生は19:00時まで 日曜日9:00～17:00 (休館日) 年末年始(12/29～1/3)</p>